

9 がっひかりごう

令和6年9月1日 輝保育園

日中はまだまだ夏と変わらず暑い日が続き、秋が待ち遠しく感じます。これから少しずつ、涼しい日が出てきて、朝夕と昼の寒暖差が大きくなっていく時期です。衣服を調整して、寒暖差に備えましょう。半袖から長袖へと着用するものが変わる時期ですので、衣服への記名や、衣服サイズの確認等も再度お願いいたします。戸外遊びも始まります。靴のサイズ、記名のご確認もお願いいたします。



(((秋祭り)))

皆が楽しみにしているお祭りです。

日時 9月21日(土)
16:30 スタート

場所 輝保育園 運動場

綿菓子、ポップコーン、かき氷、くじ引きなど、いろいろ準備しています。

★ 彼岸におはぎ ★

お彼岸といえば、「ぼたもち」と「おはぎ」ですが、どちらも同じ食べ物です。

春は牡丹の花、秋には萩の花が咲く季節であることからそう呼ばれているようです。

昔から小豆の赤色には邪気をはらう力があるとされており、災難が降りかからないように、無病息災を願う意味もあるそうです。



= 9月の行事予定 =

- 5日(木) 避難訓練 (不審者対応)
- 19日(木) 避難訓練
- 20日(金) 誕生会・身体測定
- 21日(土) 秋祭り

《《《 お願い 》》》

1. クリアケースの中と、お便り帳を毎日確認してください。
2. お金などの貴重品は、必ず職員に手渡しをお願いします。
3. 持ち物や衣類には名前の記入をお願いします。名前が薄くなっていないか、もう一度確認して下さい。
4. 夜更かしをさせず、早寝・早起をし、しっかり朝食を摂りましょう。
5. 毎日入浴させ、清潔にしましょう。

☆☆ 家庭の取り組み ☆☆

1. ほめることの意義
人は誰でもほめられるとうれしいものです。

子どもの場合は特にそうです。

そして、そのうれしいという気持ちは、心を和ませ、子どもの自尊感情や前向きに取り組もうとする意欲を高め、自らを向上させようとする力になります。

2. ほめ上手な大人であるために

ポイント1

日頃から子どもの良さに気づこうと意識する

どこにでもある木々や草花、鳥の鳴き声――、目や耳に入っはいても、意識しておかないと詳しくは認識できません。

目につきやすい子どもの気になるところや直したいところばかりではなく、日頃からちょっとした伸びや良さに気づこうと意識しておく、ほめるべきところがどの子どもにもたくさんあることが見えてきます。

ポイント2

子どものちょっとした伸びや良さを捉えてほめる

子どもの日々の成長を意識的に捉え、些細なことでも、大人の感覚で当たり前のことと捉えず、積極的にほめましょう。例えば、大きな声で返事ができた、言われなくてもテレビを切って宿題を始めた、先生の話を聞く時の姿勢が良くなった等、日常生活の中にはたくさんあります。

「教育力向上福岡県民運動 ホームページ」より抜粋

= ナース・レポート =

【冷却ジェルシートにはクーリング効果があるのか?】

子どもが発熱時に熱さまシートや冷えピタをおでこに貼付している姿を見かけます。そのような冷却シートには解熱効果はあるのでしょうか?

結論からお話すると、体温を下げる(解熱する)効果はありません。

冷却ジェルシートによる冷却の原理は、ジェルに含まれている水分が蒸発することによる「気化熱」により貼付部の温度が局所的に下がるというものです。これは貼付部の局所的な温度であり、体温ではありません。局所が冷えると「気持ちが良い」と感じるにより副交感神経が優位になり、苦痛の緩和につながる効果があると言えます。つまり、冷却ジェルシートは体温を下げる目的ではなく、苦痛緩和目的で使用することが効果的であると考えます。

日本医事新報社 看護学より抜粋

冷えピタシートなどはひんやりして気持ちがいいものですが、残念ながら、熱を下げたり、腫れをひかせたりする効果はありません。過去には、ずれた冷えピタが口を覆ってしまっ赤ちゃんが窒息する事故もありました。使用する際は注意しましょう。

こどもよす

たんぽぽぐみ
0才児



歩く事や伝い歩きを楽しみ、自分の意思で動けるようになると自発的で主体的な探索活動が増え、好奇心が深まります。それに伴い「何でも自分でやりたい」と意欲が出てきて、喜怒哀楽などの様々な感情が育っていきます。言葉で気持ちを伝えることはまだ難しくうまく意思表示ができないもどかしさから泣いたり、自分の思い通りにならず要求が伝わらないとその失望感から泣きわめたりします。手足をバタバタさせダダをこねたり、かんしゃくを起こしたり、まさに自我の芽生えです。何がしたいのか気持ちを聞き出し言葉にしてあげ、行動を決めてしまわず選択肢をあたえ子ども自身が決めることで納得することも多いです。自立するまでの成長過程なので共にやさしく見守っていきましょう。

たんぽぽぐみ
1才児



水遊び前後や給食後の着替えを自分でしようとする子が増えてきました。上手くいかずに泣いてしまったり、「出来ない」と保育者に訴えたり、黙々とチャレンジしたり、それぞれのやり方で頑張っています。1才半前後の子たちも保育者が少し援助すると、自分で洋服を着ることが出来たり、自分でしたい気持ちもあり、一人でやろうとする子も出てきました。この時期が、身辺自立の獲得、上達のチャンスです。時間はかかりますが、見守ったり、さりげなく手伝ったりすることで、自分で出来たという自信に繋がったり、身辺自立へと繋がっていきます。その反面、甘えて「手伝って」ということもあります。そのときは、思いを受け止め、一緒にしています。ご家庭でも見守ったり、さりげなく手伝ったりしながら、出来たときに一緒に喜んであげてください。

すみれぐみ
2才児



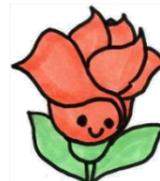
夏の暑さに負けることなく毎日元気な声が響きわたっています。7月から子どもたちが楽しみにしていた水遊びが始まりました。大好きな水遊びが待っている楽しみが、子ども達の「やってみよう」、「頑張ろう」という気持ちを育んでいます。2才児で、一年間を通し取り組んでいる課題の一つが、着脱の確立です。着脱に関しては、この一ヶ月で、多くの成長が見られます。水遊びの準備を通し、成功体験を積み重ね、自信と意欲につながっています。まだ、自分では難しい様子の子どもたちには、一緒に行ないさりげなく援助し関わっています。ご家庭でも、すべてをやってあげるのではなく、子ども達が自分で頑張っている姿を見守り、出来たときはたくさん褒めてあげてください。大好きなお父さん、お母さんたちの応援が、一番の力になります。ご協力よろしくお願い致します。

ちゅうりっぷぐみ
3才児



プール活動を通して、チャレンジ精神が強くなりしました。回数を重ねるごとに水に慣れ、顔付けの練習にも果敢に挑戦。水中での息の吐き方が上達し、「できたよ!」「見てて!」と誇らしい表情で知らせてくれるようになりました。挑戦の輪が広がっていくと同時に、互いの成功を喜び合うという嬉しい成長もありました。水遊びでは感触を楽しみつつ、玩具の貸し借りの様子を中心に見守りました。「貸して」「後でね」と言葉のやりとりはあるけれど行動するのは難しく、望ましい行動を知ってはいるものの気持ちの調整に困難が見てとれました。そこで、互いの気持ちの整理を手伝うと、子ども達同士で交代しながら使えるようになりました。玩具の共有は感情のコントロールを学ぶ良い機会です。「他者理解、他者受容」の気持ちが育ちつつある今を大切にしていきます。

ばらぐみ
4才児



プール活動では、体を伸ばし手をつきながら進んだり、水に体を浮かせることもできるようになったり、水が苦手な子も挑戦して水に顔や口をつけることができるようになりました。最近は、かるたで遊ぶ姿もよくみられます。読める子が札を読み、まだ読めない子達は札の字を見たりして絵札を探しています。多く絵札を取っている子が少ない子に分け、いつの間にか個人戦からチーム戦になって取った札を数えて喜びあっていることもあります。みんなが楽しめるように自分達で考えた今の時点での遊び方のようです。読む人を決めたり、札を取り合ったり、負けて悔しい思いをしたり遊びの中でいろいろな経験をしながら友だちとの関わりを深めています。9月もまだ暑い日が続きます。水分補給や汗の始末、体調に気をつけながら運動会に向けても取り組んでいきます。

ひまわりぐみ
5才児



7月から5才児が主体となり、誕生会の司会をしたり、みんなで話し合って決めた出し物の歌を歌ったりしています。司会を担当する子ども達は誕生児の名前を覚えて名前を呼んだり、息を合わせて進行したりします。誕生会当日は少し緊張しながらも張り切って司会をしています。先日の誕生会では秋祭りに踊る盆踊りを3、4才児に教え、みんなに分かりやすいように「前後ろ前前」と言いながら踊る姿が見られました。また、鼓隊は全員で合わせて叩き始めました。まだ音楽とはずれてしまったり、気が散ってしまったりしていますが、やる時は集中し、音楽や友だちに合わせることを意識しながら演奏することの大切さを伝えて取り組んでいます。もう少し音楽やみんなで合わせるできるようになったら、楽器を肩から掛けて隊形移動に取り組んでいきます。

